

## 横浜市感染症発生動向調査報告 7月

### 《今月のトピックス》

- ヘルパンギーナの流行警報が発令されました。
- 流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎の報告が例年より多い状態が続いています。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。

### 全数把握の対象

#### 【7月期に報告された全数把握疾患】

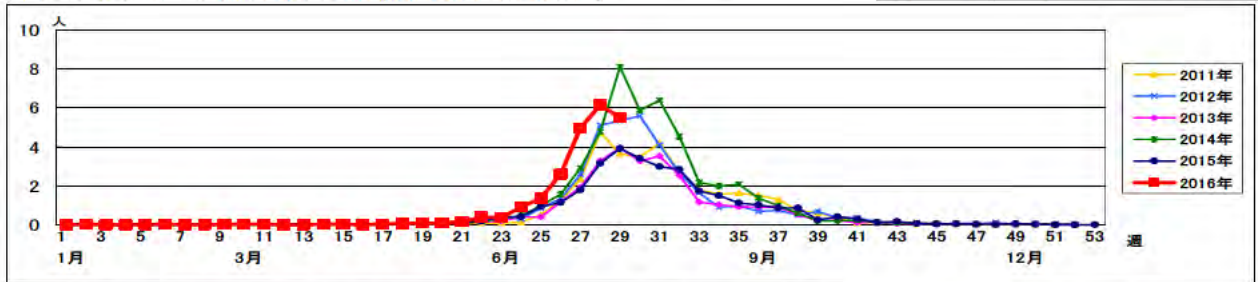
細菌性赤痢	1件	急性脳炎	4件
腸管出血性大腸菌感染症	14件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
A型肝炎	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
デング熱	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
レジオネラ症	4件	水痘(入院例に限る)	1件
アメーバ赤痢	3件	梅毒	6件
ウイルス性肝炎	1件	風しん	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4件	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1件

- 1 **細菌性赤痢**:1件の報告があり、ベトナムでの経口感染が推定されています。
- 2 **腸管出血性大腸菌感染症**:14件の報告があり(うち5件は無症状病原体保有者)、いずれもO157でした。4件は同居家族です。
- 3 **E型肝炎**:1件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 4 **A型肝炎**:1件の報告があり、国内での経口感染が推定されています。ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 5 **デング熱**:1件の報告があり、インドネシアでの感染が推定されています。
- 6 **レジオネラ症**:4件の肺炎型の報告があり、いずれも感染経路等不明でした。
- 7 **アメーバ赤痢**:3件の報告があり、1件は異性間の性的接触、2件は感染経路等不明でした。
- 8 **ウイルス性肝炎**:1件のB型の報告があり、国内での性的接触によるものと推定されます。ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 9 **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**:4件の報告があり、うち2件は医療器具等関連感染、1件は以前からの保菌と推定され、1件は感染経路等不明でした。
- 10 **急性脳炎**:4件の乳幼児の報告がありました。1件はアデノウイルス疑い、3件は病原体不明です。
- 11 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:A群が1件報告され、接触感染または創傷感染が推定されています。
- 12 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:3件の報告があり、うち1件がAIDS、2件が無症状病原体保有者でした。感染経路は、同性間の性的接触が2件、感染経路等不明が1件でした。
- 13 **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:1件の報告があり、ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 14 **侵襲性肺炎球菌感染症**:4件の報告があり、うち1件はワクチン接種歴が確認されましたが、3件についてワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 15 **水痘(入院例に限る)**:高齢者の報告が1件ありました。ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 16 **梅毒**:6件の報告(早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期4件)があり、うち5件が国内感染例で、1件は感染地域不明でした。
- 17 **風しん**:小児の報告が1件で、ワクチン接種歴がありました。
- 18 **薬剤耐性アシネトバクター感染症**:高齢者の報告が1件ありました。感染経路等不明でした。

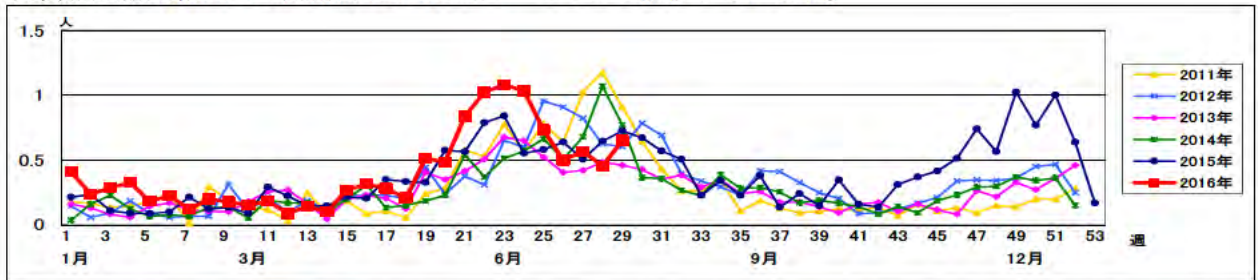
## 定点把握の対象

平成28年 週一月日対応表	
第26週	6月27日～7月 3日
第27週	7月 4日～7月10日
第28週	7月11日～7月17日
第29週	7月18日～7月24日

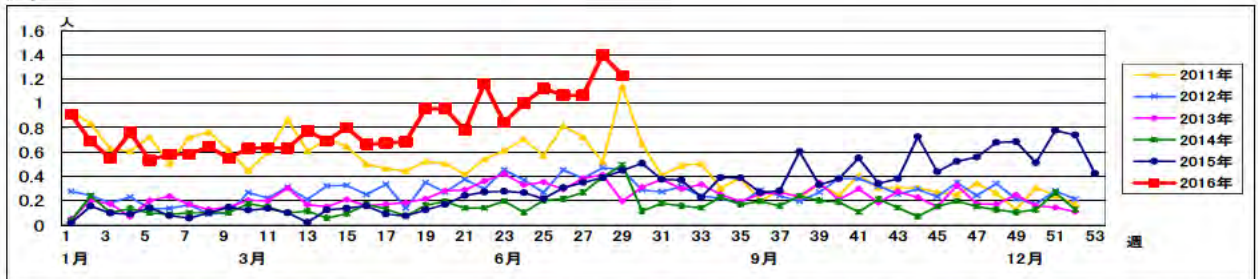
- 1 ヘルパンギーナ: 第28週にて市全体で定点あたり6.15となり、流行警報発令基準値(6.00)を上回りました(終息基準値は2.00)。第29週は5.49と、例年と比較して報告が多い状態となっています。市内の患者からはコクサッキーA群ウイルスが検出されています。



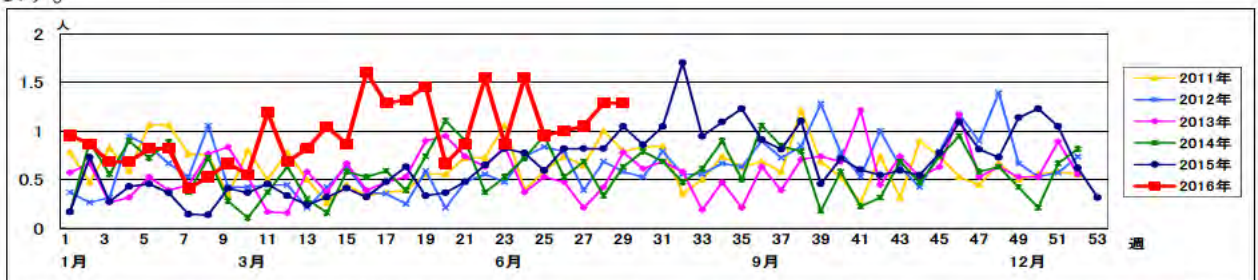
- 2 咽頭結膜熱: 第23週の定点あたり1.08をピークとして推移しています。



- 3 流行性耳下腺炎: 第29週で定点あたり1.23と、例年に比べて報告が多い状態が依然として続いています。



- 4 流行性角結膜炎: 第28週で定点あたり1.29、第29週で1.29と例年に比べて報告が多い状態が続いています。



- 5 性感染症: 6月は、性器クラミジア感染症は男性が29件、女性が17件でした。性器ヘルペス感染症は男性が6件、女性が3件です。尖圭コンジローマは男性3件、女性が3件でした。淋菌感染症は男性が19件、女性が1件でした。
- 6 基幹定点週報: 無菌性髄膜炎は第26週0.00、第27週0.33、第28週0.00、第29週0.00と報告されています。マイコプラズマ肺炎は第26週0.25、第27週0.33、第28週1.33、第29週0.33と報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)、細菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 7 基幹定点月報: 6月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症9件、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

【 感染症・疫学情報課 】

#### ◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

<ウイルス検査>

7月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点36件、内科定点6件、眼科定点2件、基幹定点10件で、定点外医療機関からは11件でした。

8月8日現在、表に示した各種ウイルスの分離株9件と遺伝子30件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(7月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	咽 頭 結 膜 熱	手 足 口 病	ヘル パン ギー ナ	流行性 耳下 腺炎	感染性 胃腸 炎	無菌性 髄膜炎	発 疹 症	そ の 他 症 例
アデノ 1型			1							
アデノ 2型			2							
アデノ 4型										1
アデノ 型未同定	1	1								1
パラインフルエンザ 3型	3	1								
ヒトコロナ*1		1								
ムンプス						4				
ライノ	4	1								1
コクサッキー A 2型	1				1					
コクサッキー A 4型	1				1					
コクサッキー A 5型	1						1			1
コクサッキー A 6型				1						
コクサッキー A 10型	1									
コクサッキー B 5型		1						1		1
エコー 9型	1								2	
パレコ 1型							1			
パレコ 3型										3
合計	13	4	3	1	2	4	2	1	2	5

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数、\*1:HCov 229E or NL63、HCov OC43

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

<細菌検査>

7月の感染性胃腸炎は、基幹定点から20件、その他が15件で、赤痢菌(*S. sonnei*)、腸管出血性大腸菌(O157:H-,VT2が1件、O157:H7,VT1&2が9件、O157:H7,VT2が4件)、腸管毒素原性大腸菌(O6:H16,LT&ST)、腸管凝集性大腸菌(O20:H-)、サルモネラ(*S. Enteritidis*、*S. Schwarzengrund*、*S. Typhimurium*、*S. Nagoya*)が検出されました。

その他の感染症は小児科定点から2件、基幹定点から4件、その他から37件でした。その他のA群溶血性レンサ球菌T1型は劇症型溶連菌感染症の患者から検出されました。バンコマイシン耐性腸球菌は*vanA*遺伝子保有でした。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(7月)

検査年月 定点の区別		7月			2016年1月~7月		
		小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*
件数		0	20	15	0	62	38
菌種名							
赤痢菌				1			2
腸管出血性大腸菌				14		2	19
腸管毒素原性大腸菌			1			1	
腸管凝集性大腸菌			1			1	
チフス菌						2	
サルモネラ			4			13	2
カンピロバクター							1
黄色ブドウ球菌						1	
不検出		0	14	0	0	42	14
その他の感染症							
検査年月 定点の区別		7月			2016年1月~7月		
件数		小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*
件数		2	4	37	26	36	237
菌種名							
A群溶血性レンサ球菌		T1		1	3		2
		T3	1		1		
		T4			2		
		T6			1		
		T12			3		1
		型別不能	1		12		2
B群溶血性レンサ球菌							1
G群溶血性レンサ球菌						2	1
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌						4	
バンコマイシン耐性腸球菌				1			2
レジオネラ属菌							1
インフルエンザ菌				2			5
肺炎球菌						5	38
黄色ブドウ球菌					1		
結核菌				23			126
百日咳菌			1			2	
ボツリヌス菌							1
その他			3	6		12	28
不検出		0	0	4	3	11	29

\*: 定点以外医療機関等(届出疾病の検査依頼)

T(T型別): A群溶血性レンサ球菌の菌体表面のトリプシン耐性T蛋白を用いた型別方法

【 微生物検査研究課 細菌担当 】